

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 発展科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
孫 榮振			
B（経営学科）	S（専門科目）	TS（国際）	301（上級科目）

授業のねらい（概要）	この授業の目的は国際関係論の基礎概念と現代国際政治の変動や転換を学び、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を洞察する力を養うことにある。また、「グローバリゼーションとは、何か」について改めて検証し、日本国内の社会問題解決にも、グローバルな視野が不可欠であることを再確認する。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 国際関係論はどのような学問なのか 国際関係論とはどのような学問なのか、その生い立ち、現代社会における意義について議論する。	
	第2回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 20世紀の国際関係をどう理解するのか 第二次世界大戦後のブレトンウッズ体制の整理とその意義について学ぶ。	
	第3回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 今日の国際関係をどう読むのか 冷戦時代のブレトンウッズ体制の構築とその変容過程を追跡する。	
	第4回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） グローバリゼーションの時代をどう読むのか 経済のグローバル化と通貨危機について議論する。	
	第5回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） グローバル・レベルの国際秩序の模索 国際経済秩序の形成を通貨金融・貿易の枠組みから検討する。	
	第6回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 保護貿易をめぐる政治と経済 自由貿易の原則と保護主義圧力について考察する	
	第7回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論	
	第8回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） リージョナル・レベルの国際秩序の模索 現代国際関係における地域統合の意味について考察する。	
	第9回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） リージョナリズムと欧州統合 EUの意味について考察する。	
	第10回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） ナショナル・レベルからの国際秩序の模索 FTA/EPAについて検討する。	
	第11回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 地球環境問題をどう解決するのか 地球環境問題を国際政治・経済の枠組みから議論する。	
	第12回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 非国家アクターの台頭をどう見るのか 情報技術（IT）が現代国際関係に与えた影響について考える。	
	第13回	予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分） 市民社会は世界を動かすことができるのか	

	<p>世界で起こる市民社会の潮流を考察する。</p> <p>予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分）</p> <p>第14回 移民をめぐる政治と経済 ヒトの移動のグローバル化について学ぶ。</p> <p>予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分）</p> <p>第15回 総括・まとめ これからの国際秩序のあり方について検討し、本講義のまとめとする</p> <p>予習（時間）：当日の新聞、国際面を一読する。（120分） 復習（時間）：授業で説明したことを確認しておく。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>国際社会における諸問題について、多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考することができる能力を身に付ける。</p> <p>【身に付くスキル】 グローバルな視野・情報活用能力</p>
到達目標	<p>国際関係論の基本的な概念を理解することを本講義の到達目標とする。具体的には、グローバル化が深化する国際環境に目を向け、国家や個人、そしてグローバル市民社会の役割を意識し、今日の地球規模の諸問題について考察し分析することを目標とする。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>学生用のコメントシートを授業ごとに配り、講義内容に関する質問やコメントを提出してもらおう。共有すべきコメントを次回の授業時に紹介する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・私語厳禁。場合によっては減点対象とする。 ・関連資料、文献については各回授業中に提示する。
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行うレポート課題；60パーセント 授業内に行うコメントシート；40パーセント</p>
教科書	<p>毎回レジュメや資料を配布する</p>
参考書・教材	<p>【参考書】 『国際関係論 第3版』 著者名：佐渡友 哲，信夫 隆司，柑本 英雄 出版社：弘文堂 発行年：2018年 価格：2376円。 『国際政治経済学・入門 第3版』 著者名：村健・大芝亨 出版社：有斐閣アルマ 発行年：2007年 価格：2160円。 備考：この書籍をを参考にしますが、毎回レジュメや資料を配布し、その資料に基づいて講義をします。</p> <p>【教材】 毎回レジュメや資料を配布する</p>
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p>
教員との連絡方法	<p>メール、オフィスアワー</p>